



協 造 日 報

www.jalc.or.jp

第404号
2007年11月10日

発行/社団法人日本造園建設業協会 (Japan Landscape Contractors Association)

創刊/昭和49年6月1日 〒113-0033

東京都文京区本郷2-17-17

井門本郷ビル2階

TEL 03 (5684) 0011

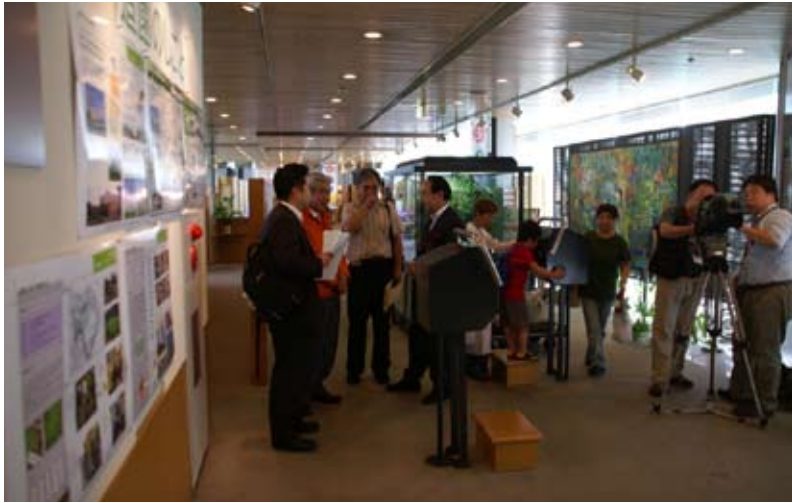
FAX 03 (5684) 0012

本号の主な内容

- 2面 国土交通省公園緑地課と意見交換会を実施
総支部長・支部長合同会議を開催/【緑滴】
- 3面 【技術レポート No.29】
エコアースシステムによる校庭緑化の実現
- 4面 【総・支部だより】群馬県支部
造園・環境緑化産業振興会代表者会議を開催/
建設雇用改善推進の集い開催/【事務局の動き】

全国造園フェスティバルを開催

北海道から沖縄まで、約140カ所で催事多彩に



マスコミ取材に対応する佐藤四郎・日造協会長 (板橋区立熱帯環境植物館)

日造協は、昨年の初開催に引き続き、今年も都市緑化月間中の10月6日から8日を中心に、全国約140カ所で、「全国造園フェスティバル」を開催した。

フェスティバルは、「花と緑で美しい日本を！」をキャッチフレーズに、全国に広がる会員が身近な公園や広場などで、さまざまなイベントなどを企画、豊かな緑と美しいまちづくりを推進するとともに、造園への理解を得ることを目的として開催しているもの。

こうした団体主催の全国連携による緑化イベントはユニークな試みで、宮城県、の国営みちのく杜の湖畔公園では花鉢の配布や親子で花植え、愛知県の農業文化園・戸田川緑地では、屋

催したほか、造園のし紹介コーナーや『造園のし



全国大会開催

「ひろげよう 育てよう みどりの都市」 国土交通大臣表彰 当協会から4氏

平成19年度「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会が10月30日、東京・日比谷公会堂で開催され、全国から多数の公園・

緑地関係者が集まった。大会は冒頭、主催者を代表して、山田勝巳(社)日本公園緑地協会会長があいさつする山田勝巳

その後、鼎談「キャッチボールのできる公園づくり」では、大沢啓一(社)全国野球振興会理事長、浦井史郎桐蔭横浜大学教授、スポーツ

ハイドロカルチャー体験のよう (板橋区立熱帯環境植物館)



樹林

昨年開催された「のじぎく兵庫国体」の「のじぎく兵庫大会」を契機に、全県花いっぱい運動が大きな盛り上がりを見せるなど、県下での花と緑に関する意識が高まっている。

兵庫県では、平成4年度から震災の年を除き、毎年春に県庁周辺で「まちなみガーデンショー」を開催してきた。県民の花や緑への意識は、大変な惨状となった震災でも衰えず、むしろ盛んになったようにも思う。花や緑には「癒し」の効果があるが、それ以上の「生きる力」として、私たちに欠かせないパートナーであることが、緑が失われた都市で発生するさまざまな現象からも伺われる。

こうした中、今回のガーデンショーは、花と緑のまちづくりの実践活動を推進する「花と緑のまちづくりセン

たことから、明石市で開催されることとなり、9月29日から10月7日にわたって実施され、来場者目標の10万人を上回る14万人を迎え、花と緑への意識の高さが改めて示された。

この「2007ひょうごまちなみガーデンショー」は、「花と緑の文化創造」を開催テーマ、「まちなみを彩る新しい「和」の空間」を

最終日には、商工会議所大ホールで、観園芸専門課程をはじめ、「最新

まちづくりは人づくり

兵庫県立淡路景観園芸学校校長
花と緑のまちづくりセンター長

石原憲一郎



サブテーマに実施され、明石公園には、2007ガーデンコンペ・ひょうごの公募作品が175点(コミュニティガーデン部門9点、寄せ植え部門141点、ハンギング・壁掛け部門25点)展示された。

また、企業、学校、過去のコンペで知事賞を受けた団体などのデモンスト

こうした兵庫県の花と緑のまちづくりに対し、兵庫県立淡路景観園芸学校

認定され、花いっぱい運動やガーデン

美しいまちなみは、その地域の人々の心の鏡であり、観光振興をはじめとする経済効果にもつながっている。花と緑に関する意識の高まりを一過性のものとせず、関心のなかつた人々の心にも伝わるよう、今後もさまざまな具

平成19年度秋の褒章章者

メニス会長・練馬区

秋の褒章 当協会員5氏受章

平成19年度

また、第27回緑の都市賞

「公園緑地行政をめぐる最近の動き」について講演を行った。

平成19年度秋の褒章章者が決定し、当協会から5氏が黄綬褒章の榮に輝いた。

谷尾喜次65 (谷尾樹楽園代表・鳥取県八頭町)

佐藤四郎63 (日比谷ア

緑化土木代表・長崎市)

総支部長・支部長合同会議

平成19年度 日頃の業務遂行等 活発な意見交換行う



総支部長・支部長合同会議のよう（10月22日）

平成19年度総支部長・支部長合同会議が10月22日(月)千葉県船橋市の船橋グランドホテルで開催された。

会議開催に先立ち、佐藤四郎会長が、造園工事が縮減される大変厳しい状況の中、「緑の景観・環境の実現を目指して」事業を進めていくので協力よろしくお願いとあいさつし、その後、各委員会、部会分科会の委員長及び座長から事業報告がなされた。

休憩後意見交換があり、

「東北総支部、福島県支部」から、公共事業労務費調査の造園工の取り扱いなどについて意見交換を行った。

「関東・甲信総支部」からは造園建設業に対する公的な助成金制度や税の優遇制度について、その申請方法などのリストの作成に關し要望があった。

「北陸総支部」からは地

「意見交換会」を実施

国土交通省公園緑地課と日造協

国土交通省公園緑地課から最近の公園緑地行政に

との意見交換会が、平成19年10月18日(木)15時半～17時、ルポール麹町で開催された。

・地方再建、税収格差の解消に向けた公共投資の状況

・骨太の方針による予算の重点化の状況

・独立行政法人改革の状況

・民生により国営公園での市場化テストの試行が行われること

・補助金を削減し一般財源化することによる公園緑地関係予算への影響

・CSRによる緑化推進の試みが推進されるであろうこと

・次期社会資本整備重点計画における政策課題と指標の考え方

・観光、歴史的都市景観の形成に関する政策と造園事業領域の拡大の可能性

・「近畿総支部、大阪府支部」からは国家資格である1、2級造園施工管理技士受験対策講座は、日造協の根幹にあたる資格であるので総支部単位でもう一度新しい形で再開してみてもどうかとの意見が出された。

また、品確法で技術者の評

価基準を設けているが、各都道府県発注工事での程度技術点に反映されているか具体的に知りたいとの要望があり、意見交換した。

「中国総支部、広島県支部」からは総合評価方式入札制度への要望がなされた。造園業界の発注規模はほとんどが簡易型で技術評価配点も20点前後である。

19年度以降の低入札についての制約が厳しくなっているが、発注量激減のため低入札発注状況は変わりない。現況を仕方ないと判断すれば、努力して良い品質

善と取られる恐れがある。総合評価方式の導入や評価項目等は地方整備局ごとに運用の自由度をあげ、局の裁量によっているところが大きいので、地方整備局発注事務所ごとに要望活動をした方が効果的などの議論があった。

また、今後の造園建設業の目指す方向等に関し、まちづくり交付金は市町村が活用するしくみであるが、その中に公園の事業が相当量埋め込まれているので研究してみてもどうか、などの具体的な意見があった。また、造園工事の特性を活かした建設プロセスのあり方に関しては、デザインビルドを造園工事で導入するための手法等について検討することも意義がある。設計施工一括方式は土木などでも実施されているが、造園ではどのように採用できるか、そもそも、

・造園業界の状況と要望活動

・藤巻副会長よりV.I.S.I.O.N21とアクションプロ

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザイ

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

・高橋技術委員長より日造協の資格制度等

・榎口事業委員長より造園フェスティバル、デザインコンクールの状況

・市川総務委員長より日造協の財政運営基本計画

技術レポート

No. 029

エコアースシステムによる校庭緑化の実現

日造協 技術情報共有発表会より
関東・甲信総支部

ています。
また、芝生の校庭などが
増えることにより、地球環
境も子ども達の教育環境も
改善されます。良質な芝生
グラウンドは、多くの愛好者
達を呼び集め、地域経済の
活性化にもつながる有効な
地域振興策のひとつとして
も考えられます。

校庭の芝生に求められるもの

校庭、園庭の芝生化は、
さまざまな利用に耐える、
強く美しく、人にも他の
生き物にも優しい芝生がど
うしても必要です。

また、さまざまなメリッ
トがありながら、芝生グラ
ウンドが増えない一つの要
因として、維持管理が大変
で、良い芝生状態を保つの
が難しいという見方もあり
ます。

このため、長野県支部で
は、こうした芝生のニーズ
や問題を解決する方法とし
て、「エコアースシステム」
を開発し、美しくみどり豊
かな芝生グラウンド、校庭
園庭、広場を提案、推進し
ています。

環境保全型
エコアースシステムによる
校庭・園庭緑化の構造

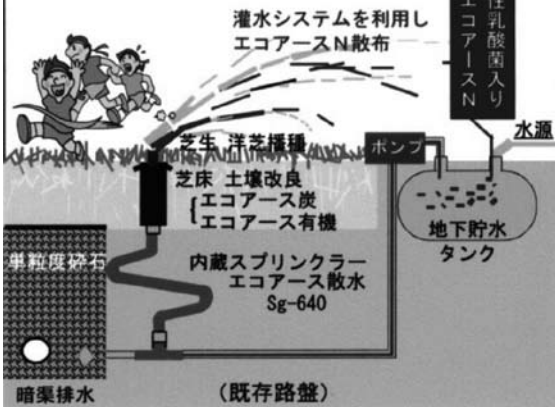


図1 エコアースシステムによる校庭・園庭緑化の構造

「エコアースシステム」とは
「エコアースシステム」
は、天然洋芝スポーツグラ
ウンドや校庭・園庭緑化の設
計、施工、管理まで、内蔵
式の散水システム、自然の
素材による土壌改良材、防
虫抗菌剤の使用を極力抑え
たAKK（愛情・感性・経
験）たつぷりの総合スポー
ツターフ建設、維持管理シ
ステムです。

土壌改良材として、「エ
コアース有機」、防虫防虫
材・植物活性材として、酵
母・植物性乳酸菌入り液肥
「エコアースN」を使用し
ています。

これは、化学物質を
まったく混入しない蒸留液
をベースに、酵母入り植物
性乳酸菌と糖分を主成分と
する特殊肥料で、長野県知
事に届出登録を済ませてお
り、特許出願中です。

また、人への有害な影響
がなく、学校でもホテルで
も、安心して使え、維持管
理を利用者などの関係者が
行う際にも安心して使用す
ることが出来ます。

エコアースシステムとは

エコアースシステムとは

システムの具体的構成

システムを構成するのは
施工として、①大型暗渠排
水（単粒度砕石）②エコア
ース散水システム地下内蔵散
水システム③芝床（高品質
土壌改良材、植物性乳酸菌

入りエコアース有機使用）
④天然洋芝播種——を行
います。

その後の、維持管理とし
て、⑤スポーツターフ維持
管理a施肥および防虫防菌
（特殊肥料酵母・植物性乳
酸菌入りエコアースNを使
用し、化学肥料、殺虫剤、
殺菌剤の使用を最低限に削
減bトップドレス・エコ
アース目砂を使用します。

具体的な施工事例は写真
2の通りで、基盤工事から
芝生育成工事を実施するこ
とになります。

なお、写真2の小学校校
庭においては、播種後55日
で使用を開始し、103日
目に運動会を実施しまし
た。その後の芝生の状態も
よく、よい状態が保たれて
います。

そもそも乳酸菌とは？

乳酸菌は、腸内環境をよ
くし、体調を改善してくれ
るヨーグルトやチーズなど
に含まれていることはよく
知られていますが、植物性

の食べ物の中にもたくさん
の乳酸菌が含まれていま
す。そもそも乳酸菌は、糖
を発酵し、乳酸などの有機
酸を生成する菌のことで、
伝統的な日本の漬物や味
噌、納豆、さらに、韓国の
キムチ、中国のザーサイ、
ドイツのザワークラウト
（キャベツの塩漬け）など、
多くの食べ物に存在し、動
物性乳酸菌に比べ、苛酷な
環境でも生き抜くことで
きる植物性乳酸菌は、多様
な糖に対応し、糖の濃度が
アンバランスでも他の微生
物との共存も可能です。

植物を元気にする乳酸菌

土壌に利用すると、①有
機物の腐敗を促進させる酪
農菌、大腸菌群などの有害
菌の増殖を抑えることがで
き、有機微生物が働き、土
中のあらゆる有機質を短時
間に発酵堆肥化。②健康で
活力のある土になるため、
植物を活性化させ、作物の
増収効果にもつながる③植
物の病害虫に対する自己防
衛機能を高め、抗菌性を有
することから病気を予防。

④天然素材100%で農薬
や化学肥料に頼らない健康
な土壌と作物づくりを行う
際にとても有効です。
こうした植物性乳酸菌の
植物活性剤としての効果を
をより高めたものが「エコ
アースN」です。

植物の生育に必要な三要
素（窒素、リン酸、カリ）
を加え、乳酸菌や酵母の働
きで、肥料の吸収が早くな
り、優れた土壌改良効果を

発揮。使用方法も簡単に
土壌の活性には、20倍から
50倍に希釈、1㎡当たり1
リットル。芝生葉面散布は100
倍から200倍希釈で1㎡
1リットル。樹木葉面に散布する
場合は500倍で希釈
し、霧状に散布します。

校庭、園庭の芝生では、
冬には枯れる高麗芝も長持
ちしており、連日マイナス
の気温が続く長野でも芝生
が良好に成育しています。

そのほか、クロマツやケ
ヤキなどの樹木でも効果が
得られています。

さまざまな施工例と今後の展望

エコアースシステムを用
いた芝生グラウンドは、県
内各所に広がっており、小
学校、保育園、「松本平広
域公園」陸上競技場、「松
本市総合球技場アルウイ
ン」(松本大学グラウンド)

などでの施工、さらに、ア
ルウインをはじめ、施工後
の維持管理についても、数
多くの実績があり、維持管
理における経過は、さらな
る向上のための改善などに
も役立っています。

さらに、4月8日を芝生
の日として、地元紙全面カ
ラーで、校庭の芝生化をP
Rするなど、積極的な取り
組みを進め、芝生化の取り
組みとともに、造園業界の
向上も推進。従来の3K(危
険・きつい・汚い)を脱皮
し、新3K(教育・環境・
健康)への貢献を目指して
います。

木村 直人
(株)信州グリーン

前回(平成18年)月には、鍋
島論議(愛蔵版)に寄せたこ
題として、現代に生きる(は)く
れと、業界人心得の一端に触
れたが、今回は、バートンとして、
今夏の甲子園を沸かした地球
児の活躍を取り上げる。

広島の高松、広島を優勝
回裏、奇跡的なホームランで下
して初優勝した県代表の佐賀
北、県勢の記録は、13年ぶり
2度目の快挙、開戦以来、延
長引分け再試合をめぐって大至
上最多の73イニングを
戦い抜いた。

この佐賀北は、試合
前のマスコミ等では
あまり下馬評にも上ら
なかった地方の県立史
上普通校で、「泥まみれ
でひたむきな野球」を
身上に、監督、選手が
心を通わせあったチ
ームで、いわゆる特待生
や裏金問題で揺れた今
年の高校野球界にさわ
やかな風を吹かせてく
れた。

この球児たちは、大
舞台の緊張など微塵も
感じさせない洗練とし
たプレーで、がばい感
動(佐賀の方言で、と
ても、非常に)の意を
我々に与えてくれた。

この話を葉隠聞書と
関連付けると、「お国は
田舎風にて初心なるが
重宝、よそ風をまね
てはにせ物に」(現代語
訳)と出ており、地方
の者が初心(うぶ)であれ、よ
その真似をしたら偽物だ、よ
そとは時(元禄時代)江戸
上方を指しており、佐賀にい
るよりもっと佐賀者らしく振
舞えと論じている。

今回の佐賀北、旋風も泥臭
い田舎者の全プレーが大観衆
の共感を呼び、知らぬうちに観
客の共感を呼び、知らぬうちに
観客を味方につけて、奇跡が生

まれた、百戦錬磨の後日語つ
ていることも付する。
その他、常朝(聞書)きき
きと関連する説話(物語)見
られるが、紙面の都合で割愛
したい。

ところで、造園業界の現
状は、厳しい経営環境の中に
あってこれからのうなるのか
どうするか、また、そのワイ
クポイントは何が、今問われ
ており、将来を見据えて経営戦
略や戦術を策定しなくては。
我々は、他業界異な
る特性に活路を見出し、
経営体質の強化につと
め、全業界の自助努力
と業界組織の力を結集し
て、取り組まなければなら
ぬが、当面するポイント
として、年々深刻化する
地球温暖化対策(炭素
循環の育成、保全等、
環境再生分野)へのシ
フトを強めて、業界分野
の拡大、企業連携による
新技術、新市場の開拓な
ど、これまで蓄えきた
ノウハウを生かすことが
急務に思われる。

すでに建築業界の一部
試みられようとしている
ものとして、原高岡忠
向の「環境と建築」の経営
の原典は、顧客であり、
したがって建設の原点
は、「顧客への高い価値
を持つ生活基盤の提供」
にあるといった考えの
もとに、いかに「顧客から
の信頼」を集めるかに
かかわっていることと「建設
サービス業」の参考になる。
とにかく、不況と規制改
革の波動に戸惑う我々にとつ
て、最後であらう、ひた
むきに戦って勝利した佐賀北ナ
イから人生の大きな希望
「元氣」を与えてもらった思い
がする。

松本 勇
(佐賀県支部事務局)

佐賀北の甲子園での“劇的”初優勝によせて

～はがくれ球児の奮闘に 業界は活力をもらおう～



写真1 芝生化された校庭でのびのびと遊ぶ子どもたち



基盤工事
(エコアース散水施設)



土壌改良工事
(エコアース有機、
エコアース炭)



芝生育成工



(エコアース目砂散布)

(エコアース散水)

写真2 エコアースシステムによる校庭園庭緑化工事施工例
(安曇野市三郷小学校の場合)

第34回全国造園デザインコンクール

平成19年度応募要項決まる

当協会主催、(社)ランドスケープコンサルタンツ協会並びに全国高等学校造園教育研究協議会共催で毎年実施している「全国造園デザインコンクール」の平成19年度第34回応募要項が決定した。

コンクールは、美しい国土と快適な生活環境の実現に欠かせない造園空間のデザインと設計技術の向上を図るために実施。

応募資格は、①「一般の部」造園の設計・施工管理などに従事している者②「大学生の部」大学、大学院短期大学、専門学校等において造園に関わる科目を履修している者や造園に興味を持つ者③「高校生」角などの広場、緑道、校庭

全国都市緑化ぐんまフェアを目前にしての近況報告

群馬県支部

第25回「全国都市緑化ぐんまフェア」は、平成20年

3月29日から6月8日の72日間にわたり開催されま

総・支部だより

各総支部・支部からの記事を紹介し

「全国都市緑化ぐんまフェア」の特徴は総合会場Ⅱ前橋市・高崎市・サテライト会場Ⅱ伊勢崎市・太田市一般会場が県下155箇所という総参加型による展開で、入場無料も特徴の一つだと思います。

現在、造園修景工事をはじめ各種関連工事が動き出

緑化、花壇など。

応募期間は12月10日から平成20年1月18日まで。審査委員会による審査を1月中に行い、表彰式を2月8日に実施する。

詳細は、日造協ホームページ (www.jalc.or.jp) から、PDFファイルにて、応募要項がダウンロード出来ます。

なお、今年度からNHKの後援をいただいています。

会員の皆様のご応募はもちろんのこと、地元高校等へのご案内など、あわせてお願いいたします。

し、企業出展をはじめ準備が急がれ「造園」領域の認識を高め、発展を期して取り組んでおります。

「ぐんまフェア」に是非、全国各支部をはじめ多くの皆様方のご来場をお待ち申し上げます。

この「全国都市緑化ぐんまフェア」のプレイベントとして「第34回群馬県都市緑化祭」が去る10月27日(土)、群馬県立敷島公園を会場に開催されました。群馬県支部ではこれに呼応して「造園フェスティバル2007」を同時に開催し、折しも台風20号の接近の影響もあり当日は朝から一日中雨降り、午後は雨脚も強

造園・環境緑化産業振興会

代表者会議を開催

体が一致団結して緑豊かな環境文化の創造に貢献してゆくとのあいさつ。

続いて、小林国土交通省都市・地域整備局公園緑地課長が来賓あいさつし、その後、議事に入った。

議題としては、平成18年度事業報告及び収支決算、平成19年度事業計画及び収支予算を審議し、両案とも異議なく承認された。

議案審議終了後、舟引緑地環境推進室長から社会資本整備審議会公園緑地小委員会報告、平成20年度の予算概算要求及び最近の都市緑化等に関する動向について、講話をいただいた。

続いて、意見交換に入り、当協会からは全国造園フェスティバル2007、全国造園デザインコンクールに関する情報提供をい、振興

10月9日、弘済会館に国土交通省 造園関係五団体会長、副会長等19名が集まり、造園・環境緑化産業振興会代表者会議を開催した。

会議は冒頭、主催者を代表して、(社)日本公園施設業協会栗田会長から環境緑化産業の担い手として、五団

会では、「公共工事の品質確保の促進に関する法律の運用について」及び「新設の都市公園の整備とともに既設都市公園のリニューアル・リフレッシュの推進」について要望を行った。

12月7日 シンポジウムを実施へ

造園・環境緑化産業振興会は12月7日(金)13時から、千代田放送会館で、全国都市公園整備推進協議会との共催、国土交通省の後援、(社)日本造園学会等の協賛で、「新しい都市公園の整備・保全・管理」と題するシンポジウムを開催する。

シンポジウムは、小林昭

勝ち取るために結集された組織であり、『造園・環境緑化産業の再生と隆盛が地球を救う』を統一スローガンに掲げ、その実現を図ることを目的として活動を展開。構成員は、当協会、(社)日本造園組合連合会、(社)日本植木協会、(社)ランドスケープコンサルタンツ協会、(社)日本公園施設業協会

当協会に置かれている。これまでに、「21世紀を展望した造園」に関する提言、「新・緑の政策大綱」への提言や講習会、シンポジウムを開催している。去る10月9日、14時から弘済会館において、国土交通省、造園関係五団体の会長、副会長等19名が集まり、造園・環境緑化産業振興会代表者会議が開催された。

国土交通省都市・地域整備局後援緑地課長、荻茂寿太郎(社)日本造園学会会長が講演。そのほか、事例紹介やパネルディスカッション等を実施。都市が抱える諸問題の解決にあたり、都市公園の役割が大きくなっていることから、特に既設の公園に着目し、魅力の増進に向けた再整備やよりよい利活用を呼びかける。参加費無料。定員200人。

平成19年度「建設雇用改善推進の集い」開催 魅力ある産業としてさらなる発展を

平成19年11月2日(金)東京都港区の「明治記念館」で厚生労働省、国土交通省(独)雇用・能力開発機構主催による「建設雇用改善推進の集い」が開催された。建設業は、我が国の基幹産業として重要な役割を担っており、そこに働く労働者の雇用の改善を図ることとは、建設業の発展のみならず国民経済の発展のためにも重要な課題である。

このため毎年11月を「建設雇用改善推進月間」として全国的に各種の啓発活動を展開している。

最近の建設業における雇用管理の実態は、依然として不安定な雇用形態の存

事務局の動き

【10月】

2(火) 総務委員会広報部会「広報日造協」編集会議

3(水) 正副会長・常設3委員長合同会議

4(木) 街路樹剪定士指導員レベルアップ研修会(四国総支部)

5(金) 都市再生機構植物管理のあり方検討委員会

6(土) 「全国造園フェスティバル開催」

9(火) 技能継承モデル構築支援事業会議

10(水) 総務委員会企画部会

11(木) 全国都市緑化祭

12(金) 国土交通省建設業課ヒアリング

17(水) 入札契約制度対応分科会

18(木) 国土交通省公園緑地課意見交換会

19(金) 特殊緑化技術コンクール表彰式

22(月) アクションプログラ推進等特別委員会

23(火) (社)日本公園施設業協会委員会

29(月) (財)日本造園修景協会総務企画委員会

30(火) 「ひろげよう・育てよう・みどりの都市」全国大会

街路樹剪定士指導員レベルアップ研修会(北陸総支部)

1(木) (社)建設産業専門団体連合会全国大会

2(金) 建設雇用改善推進大会

5(月) 植栽基盤診断士実技試験

6(火) 広報部会分科会「広報日造協」編集会議

8(木) 植栽基盤診断士実技試験

11(日) 台湾建設技術検討委員会

13(火) 街路樹剪定士指導員レベルアップ研修会(中部総支部)

15(木) (社)建設産業専門団体連合会総務部会

16(金) RLA資格検定委員会

19(月) 植栽基盤診断士認定審査委員会

20(火) 全国都市公園整備促進大会

21(水) (独)都市再生機構との意見交換会

26(月) 街路樹剪定士指導員レベルアップ研修会(九州総支部)

27(火) 造園基幹技能者制度推進協議会土木系分科会

28(水) 建設系CPDシステム部会

30(金) 基幹技能者に関する講演(司法書士会)



第34回群馬県都市緑化祭のようす